

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成30年度事業)

<目 次>

1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 点検評価の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 飯能市教育行政の重点施策について・・・・・・・・	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価・・・・・・・・	29
5 教育委員会の活動状況と評価・・・・・・・・	30
6 評価会での学識経験者の意見等・・・・・・・・	33
7 おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・	34

令和元年8月30日

飯能市教育委員会

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、平成30年度に重点的に取組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

（1）目 的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

（2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第26条第2項）、これを受けて教育委員会では、令和元年8月7日に「飯能市教育行政の重点施策の評価会」を開催し、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

＜飯能市教育行政の重点施策の評価会＞

開 催 日：令和元年8月7日（水）

開催場所：飯能市役所 本庁舎別館 会議室3

出席学識経験者：駿河台大学

経済経営学部教授 高垣 行男 氏

経済経営学部教授 増田 珠子 氏

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、平成30年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めました。

<平成30年度飯能市教育行政の重点施策>

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

基本方針

- I 生きる力を育成する学校教育に取り組めます。
- II 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組めます。
- III 学校・家庭・地域と連携した教育に取り組めます。
- IV 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組めます。
- V スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組めます。

次ページ以降に記載の各重点施策の該当項目に、各所管が掲げている平成30年度の事業名と結果、達成率、評価等を表記しています。

評価の基準は下記のとおりです。

◇評価の基準

評価点	達成割合	説 明
S	100%を超える	達成度、成果ともに期待を上回る
A	100%	目標を達成し、達成度、成果ともに期待どおり
B	90～100%未満	100%ではないが、概ね目標を達成し標準的レベル
C	75～90%未満	達成度、成果が目標をやや下回る
D	75%未満	達成度、成果ともに期待を（顕著に）下回る

基本方針Ⅰ 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。

施策１ 確かな学力と自立する力の育成

（１）確かな学力の育成

- ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進
 ◇ K４の視点による研修システムを活用し授業改善を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 学力向上プロジェクト [学校教育課]
目 標	学力の向上を目指して、一年間の取組の成果を明らかにすると共に、課題を明確にした取組を進める。
結果及び成果	○学力向上に向けた施策である「K4-KID」を推進する中で、今日的課題を踏まえた改善を行った。スポーツの「S」を加え、家庭での取組を「家庭学習、あいさつ、読書、スポーツ」とするとともに、新学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を指導・支援した。 ○学校指導訪問により11校にK4の視点を踏まえた授業づくりのポイント、更には新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりの必要性を指導できた。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	○日々の授業改善を通して、学力向上を図るための授業づくりが一層必要となる。児童生徒が主体的に学ぶことができる課題の設定や対話のある活動、更には「何ができるようになるか」を意識した確認と深い学びにつなげる価値づけの工夫を図る必要がある。 ○学校研究を充実させ、授業改善に向けた研修の充実、更には各種学力調査の活用・分析、また、外部指導者の招聘等とおして、教職員の資質・能力の向上を図る。

※K４とは、授業改善の視点として「課題・活動・確認・価値づけ（K４）」４つの「K」を明示したものです。

- ② 学習状況を把握し児童生徒一人一人を伸ばす教育の推進
 ◇ 「全国学力学習状況調査」「埼玉県小・中学学習状況調査」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。
 ③ 学習習慣形成の推進
 ④ 小・中学校９年間を一貫した教育の推進

（２）伝統と文化を尊重しグローバル化に対する教育の推進

- ① 伝統と文化を尊重する教育の推進
 ② グローバル化の進展に対する力を育む教育の推進
 ③ 外国語教育の推進
 ◇ 外国語活動支援員を活用した小学校外国語活動を進めます。

（３）社会の変化に対応する教育の推進

- ① 教育の情報化の推進
 ◇ タブレットＰＣの整備・活用など、ＩＣＴを活用した授業づくりを進めるとともに、児童生徒の情報活用能力、情報モラルの育成を進めます。
 ◇ プログラミング教育の指導方法の工夫・改善の取組を進めます。

- ② 環境教育の推進
- ③ キャリア教育の推進
- ④ 特別支援教育の推進

◇ 切れ目のない支援体制の構築に向けた幼保小と関係各課との連携を進めます。

(4) 生きる力の基礎を育む幼稚園教育の充実

- ① 少人数の良さを生かした教育の推進
 - ◇ 異年齢の交流を通して人と関わる力の育成を進めます。
- ② 恵まれた自然を生かした教育の推進
 - ◇ 園を取り巻く自然を生かした活動を進めます。

施策2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

- ① 道徳教育の推進
 - ◇ 「道徳」の教科化に向けた、指導方法の工夫・改善の取組を進めます。
- ② 読書活動の推進
- ③ 人権教育の推進
- ④ 教育相談活動の充実
- ⑤ いじめ・不登校対策の推進
 - ◇ 「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取組を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 不登校の減少に向けた取組の推進 [学校教育課]
目 標	不登校児童生徒の減少を目指して、教育相談・不登校対策を進める。
結果及び 成 果	○教育センターと学校間で連絡、連携を密にし、児童生徒が抱える課題を共有しながら支援に努めた。 ○スクールソーシャルワーカーやカウンセラーの学校訪問により、該当児童生徒への支援や保護者への支援を行うことができた。 ○様々な要因が考えられるが、年間30日以上長欠児童生徒数は増加した。学校・保護者・地域はもとより、関係機関との連携を図りながら、支援に努めていく。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	○授業をはじめとした学校生活の充実が不登校を減少させる一因になると考える。また、家庭環境を把握し、福祉と連携した支援に努めることも重要である。 ○教育と福祉の両輪で、不登校児童生徒やその家庭の支援を充実させるとともに、未然の防止となる対策と、小さな変化を見逃さない目を養えるよう、研修を充実させる。また、初期対応の重要性を各学校に指導していく。

- ⑥ 生徒指導の充実
 - ◇ 「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取組を進めます。【再掲】

(2) 体力の向上と健康の保持・増進

① 体力向上の推進と学校体育の充実

② 食育の推進

- ◇ 学校教育における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

③ 学校給食の充実

- ◇ 安心・安全でおいしい給食の提供に努めます。
- ◇ 給食調理業務においては、令和元年度に新たに2校を民間委託とするための準備を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 学校給食運営事業 [教育総務課]
目 標	令和元年度に加治小学校、美杉台小学校の2校の給食調理業務の民間委託を円滑に導入する。
結果及び 成 果	5月に市議会全員協議会へ実施の報告を行い、その後、学校と密に調整しながら、校長をはじめとした教職員へ説明を行った。また、1学期の保護者会にて、保護者に対する説明会を実施、分かりやすい資料を用い、丁寧な説明に努めたこともあり、特別な質問や意見はなかった。 また、庁内事務手続き、委託業者選定などを進め、円滑に民間委託を導入することができた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○早期に、市内の全小中学校へ給食調理業務の民間委託を導入することとしており、残り4施設についても順次導入する。 ○よりおいしく、より安心・安全に、より安定した給食の提供を行っていくため、委託事業者の業務の履行状況を評価する仕組みを構築する。

④ 学校保健の充実

施策3 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある幼稚園・学校づくりの推進

① 学習林活用教育の推進

- ◇ 水と緑の学習とムーミンの理念を生かした教育を推進します。

関連する事業 [部署名]	事業名 学習林活用教育の推進（水と緑の学習の推進） [学校教育課]
目 標	飯能市の豊かな自然を享受し、生かし、大切にしていける子どもたち、市民を育むことを推進する。
結果及び 成 果	○西川材等をはじめ、飯能市の森林を活用した教育の充実が図れた。 ○西川材フェアや学習林フォーラムにより、関係機関等と連携を図りながら今後の学習林の活用を協議することができた。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	○森林文化都市としての飯能市を、授業を通して学ぶことや、共生・共存の重要性を学ぶ機会を整えていく。 ○飯能ならではの教育として深化・発展をめざし、教育課程に位置づけながら事業の充実を図る。

② 小規模校・園の特色を生かした教育の推進

- ◇ 恵まれた環境と少人数の良さを生かした一人一人を伸ばす教育を進めます。

③ 地域の特色を生かした教育の推進

- ◇ 各地域の自然・歴史・施設・人材を生かした教育を進めます。
- ◇ 吾野、東吾野地区における小中一貫校開校の準備にあたり、地域の特色を生かした魅力ある新たな学校づくりについて検討します。

④ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

⑤ 小・中学校9年間を一貫した教育の推進

- ◇ 小中の連携から一貫への取組を進めます。
- ◇ 吾野、東吾野地区における小中一貫校開校の準備を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 小中一貫教育の推進 [学校教育課]
目 標	9年間を一貫した児童生徒の育成を目指して、飯能市における小中一貫教育の取組を実施する。
結果及び 成 果	○小中一貫教育を推進・実施するにあたり、吾野・東吾野地区の統合に向けた施策に取組めた。 小中学校の実態を踏まえ、教育課程の編成に努めたが、作成までは至らなかった。 ○小規模の中学校区において、兼務発令を行い、小中学校間の行き来や滑らかな接続に向けた児童生徒理解や情報共有が図れた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	9年間を見据えた教育課程の編成は、児童生徒の発達段階を考慮したり、学びの系統性や連続性を確保したりすることで確かな教育効果を図ることができる。小中学校が一貫した指導法や学習規律、生活規律を共有し、連携による共通実践が求められる。新学習指導要領の趣旨を踏まえた小中一貫教育の研究を推進していく。

⑥ 校種間連携の推進

基本方針Ⅱ 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。

施策1 学習環境の整備・充実

(1) 学校施設の整備の推進

① 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

◇ 経年劣化に伴う危険箇所等の修繕を実施し、学習環境を適正に維持するための改修工事を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 小学校施設管理事業 ・ 中学校施設管理事業 [教育総務課]
目 標	安心安全な学校運営を行える環境作りのため、非構造部材の耐震対策（照明及びバスケットゴール）について改修工事や修繕等を実施する。
結果及び 成 果	非構造部材の耐震対策として、屋内運動場の照明器具改修を3件（飯能第二小学校、南高麗小学校、南高麗中学校）実施した。 バスケットゴールの落下防止対策工事は3件の予定であったが、学校運営において他に優先すべき課題が発生したことから、2件（飯能西中学校、加治中学校）の実施となった。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	引き続き、非構造部材の耐震対策として、屋内運動場の照明器具改修は小学校5校、中学校5校を計画的に実施する。また、バスケットゴールの落下防止対策工事は小学校10校、中学校3校のうち点検結果から危険度・老朽度を考慮し、計画的に実施する。

② 学校規模の適正化の推進

◇ 吾野、東吾野地区における小中一貫校について、平成31年4月の開校に向け、保護者、地域、学校、保育所及び庁内の関係所管と調整を図り進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 施設隣接型小中一貫校開校準備 [教育総務課]
目 標	飯能市初となる施設隣接型小中一貫校開校に向け、通学方法の決定、施設改修の可否等、開校前の準備、開校後の作業を整理し、年度内実施のものは、進行管理表を作成し、準備を進める。
結果及び 成 果	○スクールバスについては、安心安全に通学できるよう、保護者等で構成する開校準備委員会や学校等と協議を重ね、運行ルートを設定することができた。また、スクールバスによる通学の予行練習として試乗通学を3月に2回実施し、課題の抽出、整理を行った。 ○施設改修については、老朽化の状況や優先順位を踏まえ、外壁及びトイレの改修工事の予算を確保した。 ○開校に向けた準備作業（校章及び校歌の制作、備品等の移動など）について、関係者や各部所と密に連携、調整を図りながら、準備、実施することができた。
達 成 率	100%超
評 価	S
課 題 と 方 向 性	短期間の間に、開校に向けた様々な準備を実施できた。 今後、新設校として新たな課題が生じることもあるので、引き続き学校等と連携しながら安心安全な学校運営に努める。 外壁及びトイレ改修工事については、令和元年に実施することになるが、学校等と十分に協議、連携しながら、安全に工事を実施する。

(2) 学習環境の充実

① ICT環境の整備

◇ 多様な学習活動を展開するためタブレットパソコンの配置を進めます。

② 学校図書館・教材の整備充実

(3) 就学援助の推進

① 利用しやすい奨学金制度の推進

◇ 奨学金の返還を促すための対策を講じ、昨年度より未納額を削減します。

関連する事業 [部署名]	事業名 奨学金貸付事業 [教育総務課]
目 標	○奨学金返還金の返還率を上昇させる。 ○返還が滞る奨学生に対し、計画的な返還を促すべく措置を講ずる。
結果及び 成 果	○返還率の上昇に取り組んだが、前年度（H29年度）の返還率を上回ることができなかった。 参考 平成30年度 59.36% 平成29年度 59.79% ※ 返還率＝調定額（現年度＋過年度）に対する当該年度返還総額の比率 ○返還が滞る奨学生及び連帯保証人に対し、電話や文書による勧奨を継続的に実施した。 また、奨学金の返還に関する相談の機会として、休日返還窓口を開設した。滞納者に対し文書で周知を図ったが利用者はいなかった。
達 成 率	80%
評 価	C
課 題 と 方 向 性	滞納者への対応については、引き続き個々の状況を把握し課題を整理するとともに、分納の対応や返還に関する相談等を実施し、返還しやすい環境づくり、仕組み作りに取り組んでいく。

② 高額な通学費への支援

◇ 保護者の経済的負担を軽減するため、「飯能市高等学校等通学費補助金」制度を実施します。

施策2 教職員の資質の向上

(1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

① 若手教員育成のための研修の推進

② 職責やライフステージに応じた研修の推進

◇ 学校教育アドバイザーによる指導・助言を通して、教職員の資質・能力の向上を図る研修を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 学校教育アドバイザーの活用による教職員の資質向上の推進 [学校教育課]
目 標	質の高い学校教育を目指した教職員の資質向上を図る研修を実施する。
結果及び 成 果	○教育センターによる研修計画に則り、ライフステージに応じた研修会を実施することができた。また、豊富な経験をもつ学校教育アドバイザーにより、管理職への指導・支援、幼・保、小中学校への訪問により、実態把握と適切な助言を行うことができた。
達 成 率	100%超
評 価	S
課 題 と 方 向 性	○学校教育アドバイザーによる指導・支援により、管理職のサポートをはじめ、学校の教育力の向上に努める。そのための手立てとして、学校訪問や日々のコミュニケーションを大切にしながら、資質向上の推進を図っていく。 ○学校研究を充実させるために、外部指導者を継続して配置できるよう努める。

③ 教育課題解決のための研修の推進

◇ 教育相談、特別支援教育等教育課題に応じた研修を計画的に進めます。

④ 外部機関との連携による研修の推進

⑤ 飯能の特色を生かした教育のための研修の推進

◇ 郷土飯能を愛する児童・生徒育成のため、飯能を理解・体験・活用する研修を計画的に進めます。

基本方針Ⅲ 学校・家庭・地域が連携した教育に取り組めます。

施策1 家庭の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

① 家庭教育学級の充実

関連する事業 [部署名]	事業名 家庭教育学級等の開催 [公民館]
目 標	家庭教育の支援のため、関係機関や地域団体等と連携し、家庭教育学級を開催する。
結果及び 成 果	各公民館で、学校、PTA、青少年健全育成の会と連携して様々な事業を実施、延べ1,120人が参加した。親子での体験教室や、「子どもの権利」を題材とした講座などを開催した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	児童虐待や子どもの貧困問題等、新たな課題に目を向けて取組んでいきたい。小中学校と連携しながら、参加者の募集方法について検討し、更なる参加者の増加を目指したい。

施策2 地域の教育力の育成

(1) 地域活動との連携

- ① 各種団体や事業者との連携による職業体験、ボランティア体験などの機会の充実
- ② 地域イベントへの子どもの積極的な参加
 - ◇ 駿河台大学、飯能商工会議所、飯能信用金庫と連携して、子どもの好奇心や生きる力、郷土を愛する心を育てる「子ども大学はんのう」を開催します。

(2) 地域活動への支援

- ① 社会教育機関による地域の教育活動支援

施策3 学校と家庭、地域社会との連携

(1) 学校・家庭・地域の連携

- ① 家庭や地域への学校行事等の情報提供
 - ◇ 吾野、東吾野地区における小中一貫校開校準備について進捗状況等、地域への情報発信に努めます。
 - ◇ 学校だより等を活用した地域への情報発信を進めます。
- ② 学校評議員制度や学校応援団との連携による教育活動の推進
- ③ 学習習慣形成の推進【再掲】

④ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進【再掲】

◇ 放課後の児童の在り方について、地域の方々をはじめ、福祉部・公民館・学校・児童クラブなどと一体となった取組を検討します。

関連する事業 [部署名]	事業名 放課後子ども教室開設準備事業 [生涯学習課]
目 標	吾野地区において、令和元年度から放課後子ども教室を開設できるように準備を進める。
結果及び 成 果	実施内容等事業計画の検討に当たっては、保護者、学校長、児童クラブ関係者等との意見交換を行うとともに、児童・保護者を対象に放課後子ども教室への参加意向調査を実施した。学習プログラムについては、民間事業者や民間教育機関、大学、地域の皆さんの支援をいただきながら事業を実施する体制を整えた。 事業については、5時間授業で一斉下校となる毎週月曜日（午後3時から4時までの1時間）に実施することとし、令和元年度2学期（9月）から開始することに決定した。また、教室終了後の下校手段として、教育総務課と協議し、スクールバスを運行することとした。 スタッフについては、地元の方など4人が協力してくださることとなった。 令和元年度8月には、放課後子ども教室体験会として2日間実施することとした。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	一人でも多くの子どもの参加してもらえよう、魅力ある学習プログラム内容を設定する。 また、参加者募集にあたり、事業の説明会を実施するなどPRを行う。学習プログラムについては、継続して提供できるような体制をつくる。本市のモデルケースとして、他の学校区域での実施に向けての検討も行っていく。

◇ 公民館と連携し、夏休み期間などを活用した子どもの学習支援事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 「みんなの自習室」の開催 [生涯学習課]
目 標	子どもたちに学習の場を提供することで、子どもたちと地域の繋がりをより強くし、子どもたちに地域を愛する気持ちを育てる。 夏休み中の子どもの居場所対策とともに、長期休暇中の学習習慣付けにつなげる。
結果及び 成 果	双柳小と加治東小児童を対象に、双柳及び加治東の地区行政センターを会場として、夏休み期間中に各館で4回、冬休みに各館で1回実施した。 双柳小は3年生から6年生を対象とし、14人の児童が参加した。また、加治東小は1年生から6年生までを対象とし、24人の児童が参加した。 講師は学習指導員として7人の先生方に協力していただき、加治東地区行政センターでは駿河台大学の学生7人にボランティアとして協力していただいた。 夏休みの宿題のドリルや感想文が進んだということで好評であった。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	実施3年目となる地区行政センターにおいては、地区行政センターの自主事業として実施することを検討している。平成31年度に3年目となる双柳地区行政センターへの支援が必要と考える。また、新たに事業実施が可能な地区行政センターを検討する。 冬休みにもそれぞれの館で1回実施したが、書き初めの指導も行ったが宿題が少ないこと等から、夏休みと比較して参加児童が少なかった。今後冬休みの実施については検討を要する。

基本方針Ⅳ 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組めます。

施策 1 多様な生涯学習の推進

(1) 生涯学習機会の充実

① 駿河台大学との連携

- ◇ 市民の豊富な好奇心に応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

② 多様な学習機会の充実

- ◇ 小学生から高齢者までが参加する生涯学習フェスティバルを開催し、サークル活動及び学習活動の発表を通じて、サークル活動等への参加機会を提供します。

③ 生涯学習情報の収集及び発信

- ◇ 市民の積極的なまちづくりへの参加を促すため、生涯学習出前講座を充実します。
- ◇ 市のホームページ、広報等を活用し、生涯学習に関する行事予定や成果報告などを積極的に発信します。

④ 人権に関する学習機会の充実

- ◇ 様々な人権問題についての理解を深めるため、地域で人権意識の高揚と啓発を図るための研修会を開催するとともに、人権教育の成果をまとめた冊子を発行し、地区行政センター等に配置します。

(2) 青少年の健全育成

① 関係団体との連携

- ◇ 青少年育成飯能市民会議と連携して、青少年が広い視野に立って物事を考え、発表する力を養うための「少年の主張大会」や家庭での家族のふれあいをテーマにした「家庭の日ポスターコンクール」を開催します。
- ◇ 青少年育成飯能市民会議、飯能市青少年育成推進員会、飯能警察署等と連携し、非行防止対策事業を実施します。

② 世代間交流の推進

- ◇ 生涯学習フェスティバルの中で、世代間交流を推進できるイベントを企画します。

③ ボランティアの育成と活動支援

- ◇ 地域の子ども会行事活動に協力する青少年相談員協議会の活動を支援します。

施策２ 文化活動・伝統文化の振興と文化財の保存・活用

（１）市民文化活動の推進

① 市民文化活動の奨励

◇ 市民の文芸創作活動を促し、市民文化の向上を図るため文藝飯能を刊行します。

関連する事業 [部署名]	事業名 「市民文化のつどい」の実施 [生涯学習課]
目 標	市民活動センターを会場にして、「市民文化のつどい」（仮）を開催する。 団体ごとに活動状況の紹介やチラシ配布など、文化の裾野を広げ、飯能市の文化の活性化を図ることにつなげる内容とする。
結果及び 成 果	市民活動センターを会場としたことにより、特定の分野に興味のある人だけでなく、他分野の発表を目的とした来場者や買い物客などの来場があり、広く市民へ活動をPRすることができた。参加団体間においても、互いの活動を知るきっかけとなった。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	市民活動センターを会場としては初めての開催ということもあり、活動している団体内での周知の遅れなどにより出演できない団体もあったため、ステージを使用してのプログラムが少なく有効に利用できなかった。今後はステージでの出演団体を増やしていくためにも、継続して開催することにより、各団体が毎回参加する事業として定着するようにしていきたい。

② 市民主体による活動の支援

- ◇ 郷土芸能保存団体による継承活動の支援や郷土芸能フェスティバルを通じて、技術の向上や後継者の育成を図ります。
- ◇ 郷土芸能フェスティバルの見直しなどにより、若い世代が伝統文化に触れる機会を提供します。

(2) 歴史・文化遺産の継承と活用

① 指定文化財の保存と活用

- ◇ 文化財保護意識を高めるため、文化財めぐりや文化財講座等の普及・啓発事業を実施します。
- ◇ 文化財の適正な保存を推進するため、劣化等により補修が必要となった指定文化財の修理を行います。
- ◇ 市のホームページを活用し、指定文化財を説明するページを充実させ、広くその魅力を発信します。

関連する事業 [部署名]	事業名 各種文化財事業見える化の充実 [生涯学習課]
目 標	ホームページに写真等の掲載を追加し、よりわかりやすい内容に変更する。 埋蔵文化財についても、各現場に説明看板を設置し、地域の人に遺跡情報を知ってもらう取組を行う。
結果及び 成 果	ホームページでの指定文化財の紹介ページは、写真を充実させ文章だけの内容から改善することができた。各発掘調査現場においても調査内容を紹介する説明看板を設置し、調査の進捗に合わせて内容を更新する事ができ、これをきっかけに現場の担当者へ声をかけてくれた方も見受けられた。また、情報紙への掲載については、発行担当課との調整がうまくいかず、掲載に至っていないが、原稿は出来ているので今後も掲載に向けて調整を図っていきたい。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	ホームページでのタイムリーな情報提供が課題として残っている。文化財の事業報告等は事業実施報告作成時にホームページの原稿を合わせて作成することで解決したい。 発掘調査情報については、一定の調査成果が見えた段階まで掲載を待つとタイムリーな情報提供にならないため、調査成果だけでなく、調査の状況を紹介する内容で対応をしていきたい。 また、現在区画整理事務所内に小さい展示ケースを設置して事業地内の出土品を展示できないか調整を行っている。

② 埋蔵文化財の調査と活用

- ◇ 開発行為等により影響する埋蔵文化財の試掘・発掘調査を円滑に進めるため、事業者と調整を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 市内で実施される大規模発掘調査への対応 [生涯学習課]
目 標	大字芦荻場地内で計画されている大規模な発掘調査を、調査支援を受けながら計画的に進め、予定されている期間内に終了させる。
結果及び 成 果	事業者が設定した調査期間内で発掘調査を無事に終了することができ、近隣の住民の方とも良好な関係を築いて調査が実施できた。 また、県が主催した遺跡見学会では400名を超える来跡者があり、近隣住民だけでなく広範囲の方に遺跡を紹介することができた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	今回初めて県の調査支援を受けて発掘調査を実施したが、当初市側が目指していた調査とは異なる形での実施となってしまった。今後もこのような大規模調査を実施する可能性を考慮して、今回の反省点と次回への改善点を洗い出す作業を早急に実施する必要がある。 また、開発事業の計画に埋蔵文化財の調査（発掘調査の適切な期間）をいかに取込んでいけるかが今後の大きな課題である。

- ◇ 埋蔵文化財の発掘調査場所において、実施状況を記した案内板を設置し、普及・啓発活動を図るとともに、市のホームページを活用して、埋蔵文化財の発掘調査成果の情報提供に努めます。
- ◇ 埋蔵文化財出土品の室内整理作業を進めるとともに、出土品の展示や貸出し、出張講座の開催、中学生の社会体験チャレンジの受入れなど積極的に実施します。
- ③ 歴史・文化遺産の調査と活用
 - ◇ 地域に残された歴史・文化遺産について調査を実施するとともに、貴重なものについては保存・活用に向けた検討を行います。

施策3 学習活動支援と地域の魅力発信

(1) 図書館サービスの充実

① 資料・情報提供の充実

- ◇ 「第2次 飯能市図書館サービス・運営計画」に基づき、市の知の情報拠点として、利用者の読書や調査・研究活動を支援するため、資料の充実を図り、博物館等関係機関と連携し情報提供を行います。

関連する事業 [部署名]	事業名 資料・情報提供の充実 [図書館]
目 標	「第2次 飯能市図書館サービス・運営計画」に基づき、市の知の情報拠点として、利用者の読書や調査・研究活動を支援するため、資料の充実を図り、他課や博物館等関係機関と連携し情報提供を行う。
結果及び成果	○新たな本との出会いにつながる資料展示を15回実施した。 ○庁内組織と連携した展示を5回、事業を4回実施した。 ○いずれも目標値を上回った。
達成率	120%
評価	S
課題と方向性	庁内組織と連携した事業は昨年度よりも増加した。引き続き、関係各課、機関と連携した事業を推進できるように調整していきたい。

② 課題解決支援サービスの充実

- ◇ 課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援します。

関連する事業 [部署名]	事業名 課題解決支援サービスの充実 [図書館]
目 標	課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援する。
結果及び成果	○11月にタブレットの使い方についての講座を、3月には農業関係の情報活用講座を開催した。 ○9月1日から国立国会図書館デジタル資料送信サービスを開始した。 ○各課で実施する講演会やイベントに関連する図書を積載したワゴンを制作し、10月7日に市民会館、3月26日に市庁舎に派遣した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○今後、更に多岐にわたる課題解決に役立つ各種資料・情報源の提供を図る。 ○国立国会図書館デジタル資料送信サービスをより多くの方に利用してもらえるよう働きかける。 ○関連する図書を積載したワゴンを更に多くの場に派遣できるように関係各所と調整を図る。

③ 市民との協働による図書館運営の推進

◇ 図書館ボランティアと事業を実施し、市民との共同による図書館運営を推進します。

関連する事業 [部署名]	事業名 市民との協働による図書館運営の推進 [図書館]
目 標	図書館ボランティアと事業を実施し、市民との協働による図書館運営を推進する。
結果及び 成 果	○図書館ボランティアとの活動集会を毎月開催した。 ○図書館ボランティアや読書団体等と協働で、映画会を12回、おはなし会を24回実施した。 ○市民活動センターサマーフェスタで、ボランティアが主体となってパネルシアターを初めて実施した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○ボランティアの方々は非常に意欲があるため、そのモチベーションを維持し、職員との信頼関係を保てるように配慮する。 ○市民とともに図書館運営をしていくという視点から、積極的にボランティアとの意見交換を進めていく。

(2) 読書活動の推進

① 生涯にわたる読書活動の推進

◇ 図書館の資源を活用し、子どもから大人まで各世代の生涯学習を支える事業を開催します。

関連する事業 [部署名]	事業名 子どもから大人まで各世代にわたる読書活動の推進 [図書館]
目 標	図書館の資源を活用し、子どもから大人まで各世代の生涯学習を支える事業を開催する。
結果及び 成 果	○ことばと音のコンサートを4回実施した。 ○システム更新にあわせ、情報発信ができるようにホームページを改良した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	引き続き、図書館の資料・施設・サービスを活用し、幅広い人が図書館に来てもらえるような事業を展開できるように配慮する。

② 学校等教育機関と連携した読書活動の推進

- ◇ 「第2次飯能市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校や保育所等と連携し子どもの読書活動を推進するための取組を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 学校等教育機関と連携した読書活動の推進 [図書館]
目 標	子どもが本に親しみ、読書習慣が身に付くように、学校等と連携し子どもの読書活動を推進するための取組を実施する。
結果及び 成 果	○博物館と連携し、天覧山・飯能河原に関する子ども向けの「調べ案内（パスファインダー）」を、2回発行した。 ○学校図書ボランティアに向けた研修、連絡会である「ことのはの森」を3回開催した。 ○飯能第一小学校との連携事業は実施できなかった。
達 成 率	80%
評 価	C
課 題 と 方 向 性	○学校図書ボランティアに向けた研修や連絡会を軌道に乗せることができたので、引き続き発展させる。 ○飯能第一小学校との連携事業を実施できるように留意する。

(3) 公民館活動の充実

① 地域課題を捉えた事業の充実

- ◇ 地域課題を捉えた、健康づくりや防災・防犯に関する事業、交流人口の増加につながる事業等を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 地域課題を捉えた事業の充実 [公民館]
目 標	地域課題を捉え、健康づくりや防災防犯に関する事業、交流人口増につながる事業や地元の公共交通機関を利用した事業を実施する。
結果及び 成 果	○ウォーキング、野菜を使った料理教室などの健康づくり事業を実施した。 ○地域の交通安全や防犯対策として、「交通安全・防犯教室」を開催した。地元の公共交通機関を利用するということで、国際興業バスを利用した事業を実施した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○ウォーキング事業については、参加者を飽きさせないよう、新たなコースを考えて実施する。 ○公共交通機関の積極的な利用と交流人口を増やしていく事業を、市内外の方に積極的にPRしていきたい。

- ◇ 地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 地域団体や関係機関と連携した事業の推進 [公民館]
目 標	地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施する。
結果及び 成 果	○自治会連合会支部と市鳥獣被害対策室と連携して、「鳥獣被害対策講座」を開催した。 ○原市場地区で、鳥獣被害対策原市場モデルを立ち上げ、「サル対策協力隊」を結成し、追い払いなどを行い、サルによる被害が激減した。 ○自治会自主防災会と連携して、「防災講座」や「防災訓練」を実施した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○駿河台大学や飯能南高校等との連携を更に強化していきたいと考えているが、公民館からの一方的な依頼にならないように留意し、お互いにメリットが生まれる関係を築いていきたい。 ○より実践的で効果的な鳥獣被害対策を提供できるよう、鳥獣被害対策室と更なる連携を図っていききたい。

② 情報発信の充実

- ◇ 生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図ります。また、地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信し、情報の「見える化」を推進します。

関連する事業 [部署名]	事業名 情報発信の充実 [公民館]
目 標	○生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図る。 ○地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信する。
結果及び 成 果	○月1回、地区行政センター（公民館）だよりを発行した。見やすさを重視して、紙面の内容の刷新を図った。 ○ホームページ、フェイスブックを活用し情報発信を行ったほか、事業報告として壁新聞を館内掲示し、「見える化」を図った。利用グループの作品を展示し、来館者にPRした。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	地域の情報を速やかにつかみ、今後も継続して地域情報を発信し、地域の活性化と事業の参加者の増加を図っていききたい。

③ 学習活動の支援

- ◇ 学習活動に必要な情報収集を支援するとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援します。また、さまざまな文化活動、体験活動を通して子どもの学習支援を行います。

関連する事業 [部署名]	事業名 学習活動支援 [公民館]
目 標	○学習活動に必要な情報収集の支援をするとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援する。 ○さまざまな文化活動、体験活動を通して子どもの学習支援を行う。
結果及び 成 果	○子どもたちが学習できる場の提供として、会議室を開放した。 ○高齢者学級で生涯学習出前講座を開催したり、自治会自主防災会で防災に関する出前講座を開催した。 ○夏休み、冬休み期間中に「みんなの自習室」を開催し、地域の子どもたちに対する学習支援を行った。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	○出前講座については、既存の講座の中で取入れられるかどうか検討する。 ○今後も継続して子どもの学習支援を拡充して実施していきたい。 ○スクールバスがある小学校では、放課後の子どもの時間が一定でないことから、事業の実施方法を工夫していきたい。

(4) 博物館活動の充実

① 地域の情報センター機能の充実

◇ 古文書、民具、古写真などの収蔵資料の整理を推進し、市民に提供できる情報の充実を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 特別展の充実 [博物館]
目 標	地域情報の積極的な発信手段の一つとして、吾野地区の歴史をテーマとした特別展を開催し、内容の充実を図り、吾野地区の地域特性、魅力を明らかにする。
結果及び 成 果	特別展「吾野 ～未来へつなぐ地域の記録～」は、49日の期間中、8,560人の入館者があり、1日平均で174.7人と平成2年の開館以来、5番目に多い数字であり目標を大きく上回った。 また、「吾野地区に対して興味をもった」が9割以上であり、目標に達した。
達 成 率	110%
評 価	S
課 題 と 方 向 性	市民の要望や時宜にあったテーマを選び、博物館の中心的な事業として充実を図っていく。

関連する事業 [部署名]	事業名 収蔵資料の整理 [博物館]
目 標	新たな地域の魅力を発信するために地域の資料を収集し、それらから新たな地域の魅力を引き出し、多くの人が利用できるようにするため、収蔵資料の整理を推進する。
結果及び 成 果	平成29年度に購入した文書、山崎真実子家（阿須）、小高善吉家（双柳）など22の史料群140点の整理を行ったが、目標としていた300点には届かなかった。 古写真は63点のカードを作成し目標を上回った。また民具は48点のカードを新たに作成したほか、一般収蔵庫の棚の整理は、K-1～4及びM-2・3の棚まで終了し、上半期と合わせて187点の再整理を行ったが、目標としていた300点には届かなかった。
達 成 率	75%
評 価	C
課 題 と 方 向 性	引続き着実に整理を進めていく。

◇ 飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンターとして、情報発信機能を充実させ、都市回廊空間の回遊性向上に努めます。

② 市民、小中学校、大学、他の教育機関等と連携した博物館活動の推進

◇ 図書館、市民会館と連携した事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 図書館、市民会館と連携した事業の実施 [博物館]
目 標	地域子どもたちに地域の歴史や文化の奥深さ、当館周辺の自然の豊かさを伝えるため、図書館、市民会館と連携した事業を実施する。
結果及び成果	子ども向けの自然散策マップ「行って！見て！読んで！調べてみよう！天覧山」を7月下旬に、同じく「飯能河原」を3月中旬に発行し、博物館と図書館で配布を開始した。イラストをふんだんに用いており、子どもたちの興味をひくものとして、好評を博している。
達成率	105%
評価	S
課題と方向性	発行した2つの散策マップの活用状況を把握しながら、その改善に努めていく。

③ 施設の充実と職員の専門性の向上

◇ 収蔵スペースの確保や利便性の向上などをはかり魅力ある博物館づくりに努めます。

◇ 博物館の学芸員としてふさわしい専門知識、技能を向上させるため、各種の研修、研究会に積極的に参加し、組織内での成果の共有を図ります。

(5) 地域の魅力発信

① 地域情報の積極的な発信と地域の活性化支援

◇ 市の観光情報を発信する拠点として、地域の魅力を伝える資料を収集し、提供します。

関連する事業 [部署名]	事業名 地域情報の積極的な発信と地域の活性化支援 [図書館]
目 標	市の観光情報を発信する拠点として、地域の魅力を伝える資料を収集し、提供する。
結果及び成果	○市の観光情報を発信するための常設のテーマ棚を設置し、観光マップなどを配布できるようにした。 ○新緑ツーデーマーチ、飯能まつり等の写真掲示を行った。 ○博物館と連携し、飯能河原及び天覧山周辺の魅力を伝える散策マップを作製した。 ○栃木県沼田市と連携し、両図書館でそれぞれの観光案内コーナーを設置した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○関係部署との連携を深め、市の魅力を更に発信できるようにする。 ○博物館と連携し、飯能河原・天覧山周辺の魅力を伝える資料を増やす。

- ◇ 新たな常設展示を地域の魅力発信の拠点とするため、現地に人を誘うためのマップやリーフレットを作成し、スマートフォン等を利用した館内案内システムの充実に努めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 地域の魅力を発信する機能の強化 [博物館]
目 標	リニューアルした常設展示を飯能の魅力を発信する拠点として機能させるため、地域の見どころや歴史、文化遺産などを紹介したマップやリーフレットを作成し、展示室に備える。また、館内案内システムのコンテンツを充実させる。
結果及び 成 果	○歴史展示室のおでかけガイドマップは、9月に獅子舞マップ、11月に「まちのにぎわい（「歴史的建造物を訪ねるコース）」、2月に「町のまつり 山車マップ」の3種類、また、案内カード（はがきサイズ）を5種類作成し展示室に備えた。 ○館内案内システムは、民俗分野で5項目、歴史分野が10項目、自然分野で9項目の計24項目追加した。 ○館内の案内（展示解説）は年間77回実施し、飯能の魅力を発信した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	館内案内システムの項目はまだ作成していないものがあるので、引き続き追加していく。

- ② 「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設Me t s ä（メツァ）」を活用した新たな魅力の創出

- ◇ ムーミンやフィンランドに関する資料コーナーを活用し、その情報発信に努めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設Me t s ä（メツァ）」を活用した新たな魅力の創出 [図書館]
目 標	ムーミンやフィンランドに関する資料コーナーを活用し、その情報発信に努める。
結果及び 成 果	○フィンランドの社会、文化が体感できるような事業を3回（講演会「フィンランドってどんな国」、講座「北欧に学ぶ小さなフェミニストの本」、北欧フィンランド写真展）開催した。 ○ムーミンの世界を伝える事業として図書館のついでに「ムーミン谷の自然と哲学」と題した講演会を開催したほか、ムーミンに関する本をワゴンに積んで市庁舎で出張貸出展示をした。 ○フィンランドに関する資料、情報の収集は十分にできなかった。
達 成 率	75%
評 価	C
課 題 と 方 向 性	多くの世代に対し、ムーミンやフィンランドについて知ることができるような講座、資料展示を更に充実させる。

③ 飯能河原・天覧山周辺の魅力の発信

- ◇ 飯能河原・天覧山周辺の自然の魅力を多くの人に知ってもらうため、関係団体と連携しながら、博物館を拠点とした観察会等を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実 [博物館]
目 標	当館がリニューアルオープンし、周辺の自然も魅力を発信する拠点となったことをアピールするため、飯能河原・天覧山周辺の自然の観察会等を実施する。
結果及び 成 果	自然の観察会は、4月、7月、9月の3回実施し、うち7月の「飯能河原の石の標本づくり」は子どもを対象に開催した。申し込みはそれぞれ24人（20人募集）、12組（12組募集）、23人（22人募集）といずれも定員以上であり、満足度は90%、100%、89.5%でいずれも75%を大きく超えた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	昨年度より天覧山、多峯主山の自然についてのガイドブックの発行が始まったところであり、これを活用したものを中心に年3～4回実施するほか、自然講座も年2回程度実施していく。

基本方針Ⅴ スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組めます。

施策1 健康で元気に暮らすための事業の充実

(1) 地域と連携した活動の推進

① 健康づくり事業の展開

- ◇ NPO法人飯能市体育協会におけるコーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 コーディネーショントレーニングの推進 [スポーツ課]
目 標	コーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図る。
結果及び成果	○飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会を年7回開催した。 ○体験会並びに学ぶ会（体育協会主催）を年2回（6月24日/12月15日）開催。ブロンズライセンスセミナーは、H30年度は東京会場において、セミナーが行われたため中止とした。 ○保育所巡回教室を9保育所及び名栗幼稚園で開催し、延べ550人が参加した。また、保育所巡回教室を1回（5月）実施し、延べ6人が見学した。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	コーディネーショントレーニングを推進していく中で、ブロンズライセンスセミナーの取得者を増やしていくことが必要と考えられる。引き続き協議会等で検討していく必要がある。

② ウォーキングのまち飯能の推進

- ◇ 市民の健康維持、健康意識の高揚を図るため、市内9地区のウォーキング大会をNPO法人飯能市体育協会に委託し、『市民健康ウォーク大会』として開催します。

(2) スポーツイベントの充実

① 飯能新緑ツーデーマーチ

- ◇ 関係団体と連携し、安全で効率的な大会運営を行います。参加者だけでなく主催者側もワクワクし満足する大会とします。

市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えします。

第16回飯能新緑ツーデーマーチ

大会期日：平成30年5月26日（土）・27日（日）

② 駅伝競走大会

- ◇ 歴史と伝統ある奥むさし駅伝競走大会を関係団体と連携し、市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えします。

第17回奥むさし駅伝競走大会

大会期日：平成31年 1月27日（日）

- ◇ 第61回奥武蔵中学校駅伝競走大会を開催します。

大会期日：平成30年12月 1日（土）

関連する事業 [部署名]	事業名 既存イベントの充実 （第16回飯能新緑ツーデーマーチ・第17回奥むさし駅伝競走大会 ・第61回奥武蔵中学校駅伝競走大会） [スポーツ課]
目 標	○既存イベントの充実を図り、参加者に満足してもらえるような魅力ある大会を実施する。 ○関係団体と連携を密にして、市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えする。 ○参加者だけでなく主催者側もワクワク満足する大会を開催する。
結果及び成果	≪第16回飯能新緑ツーデーマーチ≫ H30.5.26（土）・27（日） ○昨年度の反省点を考慮し、コース下見を行いながら決定した。 ○統括部会や実行委員会等を実施し、準備を行った。 ○参加者20,368人 ≪第17回奥むさし駅伝競走大会≫ H31.1.27（日） ○警察や関係団体等と協議を行い、第15回大会から10チーム増やした230チームで募集を開始できた。高校の部…67チーム、一般の部…149チーム、合計…216チーム ≪奥武蔵中学校駅伝≫ H30.12.1（土） ○男子の部…69チーム、女子の部…59チーム、合計…128チームが参加した。 ○駐車場の拡幅工事に伴い、開会式・閉会式のレイアウトを変更するとともに、短時間で終了するように変更した。 いずれの大会も大会運営上での事故はなく終了した。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	○飯能新緑ツーデーマーチにおいては、引き続き参加者の増加を図るための啓発等を関係団体と連携して推進していく。 ○奥武蔵中学校駅伝については、選手が少なく参加できない学校への対策として「合同チーム」などが結成できるが、引き続き研究・協議が必要と考える。

③ 新たなスポーツイベントの検討

- ◇ 飯能市の豊かな自然、地形を生かした新たなスポーツイベントの協力を行います。

- ◇ 「北欧のライフスタイルを体験できるゾーン メッツァビレッジ」付近でのイベント開催の検討を行います。

(3) スポーツ環境の整備・充実

① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ◇ NPO法人飯能市体育協会に補助金を交付し、各競技団体と地区体育協会のほか、スポーツ少年団、レクリエーション協会等の活動を支援します。

関連する事業 [部署名]	事業名 各種関係団体との支援及び連携 [スポーツ課]
目 標	NPO法人飯能市体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団などの各種関係団体を支援するとともに、連携を図り、飯能市のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。
結果及び成果	○各関係団体との会議を計画的に開催し、団体との連携強化・情報の共有化が図られた。 ○飯能市体育協会が開催する理事会（年7回）と総会、加盟団体長・理事長会議などに出席した。 ○飯能市スポーツ推進委員協議会定例会を12回（月1回）開催した。 ○スポーツ少年団本部委員会を4回開催した。 各関係団体との会議に出席をすることで、情報の共有化が図られ、連携・協力体制が得られた。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	スポーツ課の事業においては、関係団体並びに関係者等の協力・連携が必要となることから、日頃から信頼関係を構築していく必要があるため、関係団体の会議等には積極的に参加していくこととする。

- ◇ 全国大会出場などの選手及び団体へスポーツ奨励金を交付します。
◇ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、関係団体等と連携し支援します。

② 市民ニーズに即応したスポーツ教室等の開催

- ◇ 市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及振興するため、NPO法人飯能市体育協会にスポーツ教室及びスポーツ大会等を事業委託して開催します。
市内競技団体によるスポーツ教室の開催
第67回市民体育祭（27競技団体）及び地区体育祭（9地区）
第37回市民レクリエーション祭（5団体）
◇ ちふれASエルフェン埼玉と連携したスポーツ教室等を開催します。

③ ホッケーのまち飯能の推進

- ◇ 『ホッケーのまち飯能』推進計画に基づき、ホッケーのまちづくりを推進します。

市内全中学校における保健体育科授業での必修化を継続します。

ホッケーのまち飯能推進事業を飯能ホッケー連盟に委託し、スポーツ少年団・中学生の強化及び支援を進めます。

飯能ホッケー連盟に大会補助金を交付し、第27回関東中学生新人ホッケー大会を支援します。

関連する事業 [部署名]	事業名 ホッケーのまちづくりの推進 [スポーツ課]
目 標	「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。
結果及び 成 果	○巡回ホッケー教室の開催 小学校：13校、中学校：8校（全校で開催）、中学生放課後：1クラブ（飯能Jrホッケークラブ） ○「ホッケーのまちづくり」に係る基本方針（改訂版）及び推進計画を策定するため、懇話会を2回開催し、各委員から意見を聞き、基本方針（改訂版）及び推進計画を策定した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	「ホッケーのまち飯能」を推進していくため、関係団体や学校の教員と連携、情報共有しホッケー人口を増やしていく必要がある。

施策2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

（1）スポーツ施設の安全点検とサービスの向上

① 指定管理者との連携

- ◇ 都市公園運動施設のサービスの向上、円滑な管理運営を行うため、指定管理者と連絡調整を行います。
- ◇ 指定管理者の職員の質を高く維持しつつ、接遇の面でも市民サービスを重視した意識を確保します。
- ◇ 指定管理者の積極的な自主事業の実施に向けて協議を行います。

② 施設の計画的な修繕

- ◇ スポーツ施設の安全な運営を確保するため、定期的な施設点検を行い、指定管理者や関係部署と協議し、修繕計画を作成し修繕を行います。
- ◇ 阿須運動公園ホッケー場・美杉台公園多目的グラウンドの人工芝について、早期の張り替えに向けて関係課等と協議します。

③ 利用者のサービス向上

- ◇ 指定管理者と連携し、利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、施設の利便性の向上を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 都市公園運動施設の指定管理 [スポーツ課]
目 標	都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。
結果及び 成 果	○指定管理者であるNPO法人飯能市体育協会、太平洋総業サービス(株)と必要に応じて協議・検討を行った。 ○施設の安全点検や工事、修繕箇所の確認を行い、来年度以降の実施計画に反映させた。 ○指定管理者と連絡を密にし、施設の修繕を進めた。 ○道路公園課と連絡を取り合い、公園内での工事や修繕についても情報共有しながら進めた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	施設の老朽化などに関する情報共有を、指定管理者である飯能市体育協会・太平洋総業サービスと引き続き協議・検討していく必要がある。

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

平成30年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（A評価）」と「概ね目標を達成（B評価）」の割合は、全36事業中27事業あり、全体の75パーセントを占めました。

また、「期待をやや下回る（C評価）」が4事業ありましたが、「期待を上回る（S評価）」については5事業ありました。

全体的に、良好な事務執行ができたと評価できますが、引き続き創意工夫し、努力していく所存です。

<集計表>

所管課（館）	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	1	1	1	1	0	4
学校教育課 教育センター	1	1	3	0	0	5
生涯学習課	0	4	1	0	0	5
公 民 館	0	5	0	0	0	5
スポーツ課	0	4	1	0	0	5
図 書 館	1	4	0	2	0	7
博 物 館	2	2	0	1	0	5
事業数合計	5	21	6	4	0	36
評価の割合 （％）	13.9	58.3	16.7	11.1	0.0	100.0

（参考）平成29年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	0	22	10	4	0	36
評価の割合 （％）	0.0	61.1	27.8	11.1	0.0	100.0

5 教育委員会の活動状況と評価

平成30年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

項 目		回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数 (臨時会を含む)	13回	定例会及び臨時会の開催 定例会12回、臨時会1回
	教育委員会会議の傍聴者	延べ17人	定例会12回
	議事録の公開、広報・広聴活動	—	議事録(概要)、会議日程を ホームページへ掲載
	教育委員の研修会等への参加	延べ26回	「埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会」ほか

【教育委員会会議の議案数】

項 目		議案数(件)	議案の内容
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	4	「飯能市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則(案)について」ほか
	教育費予算、その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	7	「平成30年度飯能市一般会計補正予算教育費(案)について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	1	「飯能市立学校設置条例等の一部を改正する条例(案)について」
	人事に関すること	12	「平成31年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事(案)について」ほか
	その他	11	「奨学生の決定について」ほか
合 計		36	

【評 価】

開かれた教育行政を推進するため、市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供について、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

また、平成28年度から令和2年度までの計画である「第2期飯能市教育振興基本計画」（以下「計画」という。）に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局との連携を一層強化して計画の実現に取り組みました。

同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、平成30年度の達成状況は次のとおりです。

第2期飯能市教育振興基本計画 数値目標の結果

【学校教育課】

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	（小学校）	85.5 %	90.1 %	87.6 %	92.2 %	95.0 %
	（中学校）	71.8 %	76.1 %	78.1 %	97.6 %	80.0 %
学校で取り上げた人権課題の数	（小学校）	78 件	123 件	91 件	75.8 %	120 件
	（中学校）	37 件	57 件	50 件	70.4 %	71 件
体力テスト5段階絶対評価で上位Aランク（A・B・C）の児童生徒の割合	（小学校）	81.3 %	81.4 %	81.7 %	102.1 %	80.0 %
	（中学校）	85.0 %	81.2 %	84.7 %	99.6 %	85.0 %
小・中学校応援団のボランティア総人数		1,257 人	1,724 人	1,695 人	84.8 %	2,000 人

【教育センター】

項 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
タブレットP Cの配置校	（小学校）	5 校	7 校	12 校	100.0 %	12 校
	（中学校）	3 校	4 校	6 校	75.0 %	8 校

【学校教育課・生涯学習課・公民館】

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
家庭教育学級への総参加者数	1,783 人	1,878 人	1,120 人	131.8 %	850 人

【生涯学習課】

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
青少年育成活動の参加者数	203 人	258 人	365 人	146.0 %	250 人
青少年ボランティア延べ人数	72 人	114 人	24 人	48.0 %	50 人
公開講座参加者数	2,768 人	2,768 人	3,288 人	91.3 %	3,600 人
出前講座開催件数	84 件	86 件	137 件	195.7 %	70 件

【公民館】

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
公民館主催事業数	346 事業	347 事業	334 事業	107.7 %	310 事業
主催事業参加者数	22,333 人	22,097 人	20,138 人	103.3 %	19,500 人

【スポーツ課】

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
市民健康ウォーキング事業参加者数	1,442 人	1,228 人	1,640 人	82.0 %	2,000 人
スゴ足イベントの参加者数	2,610 人	1,816 人	2,621 人	74.9 %	3,500 人
飯能新緑ツーデーマーチ参加者数	21,241 人	20,304 人	20,368 人	81.5 %	25,000 人
スポーツ施設利用者数	281,605 人	274,848 人	295,445 人	100.2 %	295,000 人
学校体育施設開放事業における利用人数	124,920 人	118,204 人	120,358 人	87.2 %	138,000 人

【図書館】

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
図書館年間利用者数	112,097 人	109,898 人	106,393 人	95.0 %	112,000 人
年間貸出点数	5.54 冊	5.38 冊	5.24 冊	90.3 %	5.8 冊
図書館来館者数	234,373 人	234,216 人	232,684 人	100.7 %	231,000 人

【博物館】

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成度	目標値（令和2年度）
ホームページ「地域の歴史情報」の項目数	6 件	6 件	6 件	54.5 %	11 件
博物館資料整理済件数	67,287 点	68,075 点	68,316 点	119.9 %	57,000 点
年間入館者数	30,666 人	4,846 人※	41,533 人	138.4 %	30,000 人

※ 常設展示改装工事に伴う休館(H29.6.1～H30.3.31)のため

6 評価会での学識経験者の意見等

点検・評価の客観性を確保する観点から、飯能市教育行政の重点施策の評価会を開催し、2名の学識経験者から次のような御意見等をいただきました。

【各事業の目標設定と評価結果等に対する意見、助言】

- 業務委託に関する評価については、委託を開始する前に評価の仕組みを整えておくべき。また、保護者に対して業務委託の説明を行う場合は、評価の仕組みに関する事など、セーフティネットの部分も説明することでより安心感を与えることができる。
- 飯能市の素晴らしい資源、西川材について、市内には産業高校はないが県立高校へ呼び掛けて題材、教材としてピーアールする方法もある。
- 放課後子ども教室と学童保育所は、目的を異にするもの。学童保育所で待機児童問題が生じている場合は、学童保育所の問題として解決し、決して放課後子ども教室をその解決策としないようお願いしたい。
- 各公民館がそれぞれの独自性を活かすよう事業の見直しをすべき。公民館の特徴を残していくことが、当該地域の特徴を残し得る方法である。
- オリンピック種目であることの強みを生かして、子どもたちにホッケーをプレーする機会を与えるとオリンピックがより楽しめるようになる。そのことがホッケーの競技人口を拡大することにつながるだろう。
- 図書館の利用に慣れるということでは、学生が学習するために図書館へ来てくれるということは必要なこと。まずは居場所として感じてもらうことで、将来、図書館を通常に利用することとなるよう期待したい。
- 博物館の催しなど、ウェブで見ることできるが、積極的に見る姿勢がないと見ないもの。他部署と連携した周知の方法を検討すべきである。

【総括】

- 各所管の評価結果については、概ね妥当である。
- 目標を達成できなかった理由を記載するようにお願いしたい。そのうえで、その課題や今後の取り組み方などを課題と方向性の欄に記載するなど、工夫されたい。
- 事業により、量の評価指標を設定するか、質の評価指標を設定するのかよく見定めていただきたい。また、量の評価指標であっても、個体差を考慮した評価指標を用いないと、量だけにこだわった事業展開となる恐れがあるため、実情に即した事業を推進するためにも、評価指標の設定にあたっては、特に留意されるようお願いしたい。

7 おわりに

教育委員会の事務に関する点検・評価は、今年度で12年目となりました。本市の教育振興のための施策を着実に実現できるよう中・長期的な視点に立って、毎年、各所管が目標を掲げ事業展開を行っています。重点施策として評価シートに表記されていない事業もありますが、計画に基づき各所管で確実に事業を進めております。

評価結果については概ね妥当である旨2人の学識経験者から御意見を伺い、市民の立場に立った学校施設や給食に対する安心・安全や地域における公民館など各施設の在り方、更には、来年開催されるオリンピック・パラリンピックに向けてのアドバイスなど、大変貴重な御意見をいただきました。

そのうえで、計画立案の際に評価の仕組みをつくるということや、世の中の移り変わりの中で、実務の経験や法律は古くなっていくという御意見をもって、常に数年先を見据えながら事業に取り組まなければならないことを示唆していただきました。

学識経験者の御意見を踏まえ、今後も教育委員会では、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、計画に基づきより効果的な教育行政の推進に努めてまいります。